

中 岳



2005歯の祭典 ― 歯ッスル 歯ッスル ―
ビアパーティー2005

目 次

巻頭言	藤波 好文副会長	1
委託事業の終了にあたり		
○長寿の里歯科診療所閉鎖によせて	中根 俊吾元会長	2
○在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業	関 剛一前会長	3
2005歯の祭典上通りイベント		4
よい歯のピエロショー		6
2005歯の祭典上通りイベント来場者集計結果		7
歯科用品商組合との懇談会		11
ビアパーティー'05		12
平成17年度前期歯磨き巡回指導		14
三歯会		17
第3回熊本市地域歯科保健研修会		18
スタッフ研修セミナー		20
Study 「自信をもって自由診療をすすめる前に」	宮田 正孝	22
熊本市学校保健功労者表彰を受けて	柿原 訓	26
スポーツの広場		27
会務報告		28
編集後記		

表紙のことば

6/8（水）城南小での歯磨き巡回指導の一こま
学校歯科医の伊藤先生の顔も見えます。

今年も6月に10校回りました。学校歯科委員会の先生方はじめ多くの方たちの献身的な活動に頭が下がります。ただ、これが一過性のものでなく、継続されているか、当該校のその後の状態を知りたいところです。

(T.F.)

歯科医療の安心・安全と 会の改革にむけて



藤波 好文 副会長

小泉首相の「郵政解散」での「刺客」や戦後60年での東条元首相の上野総義歯に「リメンバー・パールハーバー」と報復の文字を刻んだ米国海軍元歯科医の新聞記事は面白く読みましたが、郵政への米国の圧力、靖国参拝への中・韓の反発など日本の自主性が問われています。

我が業界でも日歯関連事件は歯科の信頼回復に時間を要し、来春の医療改革への影響、混合診療とGDPによる医療費の管理には不安を持たせ、正念場にあります。

現執行部の任期もあと半年となりましたが、本会でも従来の事業の廃止、行政監査等予定外の問題も多くあり、変化を受け入れながらの対応が大切なときでした。また急浮上しました県歯会館の新築問題は、従来どおりの入居を望んだ本会としましても会員の先生の理解を得るべく会館建設協議臨時委員会を設置し、古賀会長が各支部に説明にまわり、同意を得て9月の代議員会、臨時総会でよい結果が出ると信じています。このような状況の中、各委員会ではそれぞれの行事を理事を中心に頑張り、上通りの歯の祭典をはじめ、地域・学校での歯科保健活動、話題に応じた学術企画、会員相談等により充実したものとなり、パーティーにも若い先生の参加も多くなり、かわら版の自作、中岳の経費削減と会員の先生に役立てて頂けていると思います。

さて、世間では2007年“団塊の世代問題”が言われていますが、本会でも10数年後の終身会員の増加を見据え会費についての検討が必要となっています。これには本会の事業の見直しも必要で、理想は比較的少ないリスクで最大級の効果をもたらすものですが、医療をととしての社会貢献、公衆衛生活動の役目、学術団体としての本会は効果が少なくとも責任を果たすべきことはやっていたかねばなりません。今各委員会には宿題を課しており、秋より全体で取組むことにしております。問題点の一つ一つ順を追って解決するため先生方のご意見、お知恵を借りながら、次へ繋がる改革の道標をつけたいと思います。

医療での安心、安全は当然ですが、特に最近強調されている院内感染対策相談窓口も開設され、また、医療の安全対策のため安全管理が歯科も含め一般診療所に義務づけられる方向にあります。昨年保健所の立入り検査時の項目、結果は役立ちますので、送付した資料でもう1度チェックして頂きたいと思います。対応として放射線漏洩測定器の支部別貸し出しはその一つです。医療相談や苦情等少なくありません。事例集（県歯ニュースレターも含む）や保健所の報告をよく読んで欲しいと思います。委員会でも時々「これはひょっとすると自分もしているかもしれない」事例があり反省することもあります。医師のパターンリズムの払拭と患者さんとの双方向性、更に自らの研鑽の必要性の認識だけでなく、どれだけ成果を挙げたかが重要な気がします。自院をスタッフと一緒に内側からも見てみたら如何でしょうか。

最後に1歳6ヶ月児フッ素塗布と妊婦歯科健診を各診療所で行う委託事業が始まっています。ライフステージの始まりであり、今後より重要となる予防へのスタートです。協力医体制で始めましたが、会全体で進めるのが本来の姿ではないかと考えます。大多数の先生に協力医になっていただき、その実績で範囲を拡げていき、輝く歯科界をとりもどし周りの人にも安心を与えたいものです。

委託事業の終了にあたり

熊本市からの委託事業、長寿の里歯科診療所及び在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業が本年3月をもって終了いたしました。

中根先生は本会会長として、関先生は中根会長のもと専務理事として、その後会長として、本事業の立ち上げ並びに事業の推進に尽力されていました。

両先生の思いをどうぞ。

長寿の里歯科診療所閉鎖によせて

元会長 中根 俊吾



年号が昭和から平成に改まった1989年、国は当時の厚生省を中心にゴールドプランの策定を行い、高齢者福祉政策、中でも在宅介護とデイサービス施設の整備を主眼とした取組みを始めました。

その頃熊本市では在宅寝たきり者の家族から歯科診療を求める声が高まり、また訪問介護のヘルパーからも歯科往診を、との要望が出ており、更に先進的な取組みをしている所からは、寝たきり者の歯科診療によって口腔内の改善に止まらず全身的な改善が顕著であり、中には自立歩行が出来るまでになった、等の訪問診療の実績報告がなされていました。

これらの事をふまえ、熊本市歯科医師会では在宅寝たきり者への事業を検討することにしましたが、多くの難問があり、中でも煩わしくベイしない往診に会員の協力を得る事ができるかどうかが一番の問題でした。又、器材やその運搬などの事もあり、熊本市の協力と財政支援は必要且つ重要なことでした。幸いにも熊本市には医師会を軸に熊本市保健医療専門団体連合会(医専連)という組織があり、この中で問題を提起し全会の理解と賛同を得た上で行政と折衝できたのは大きな力でした。

平成3年7月、紆余曲折のすえに熊本市在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業は開始されましたが、この事業が概ねスムーズに運営できたのは会員の協力もさき乍ら、衛生士会会員の献身的な取組みがあった事の特筆し、改めてここに感謝申し上げる次第です。

さて一応移動型の診療は軌道にのり、当初から採録していたQOL、ADL等を含めた実績

報告は市行政や医専連の高い評価を得るまでになり、その実績データを基に、デイサービス施設に固定型の歯科室を設け、在宅寝たきり者の歯科保健医療の更なる充実を図るべく、当時、市の最新モデルとして計画中のデイサービスセンター長寿の里に、歯科診療所を設置する動きが出てきました。

時の田尻靖幹市長は全身に及ぼす歯科保健や医療についての理解が深く、自らこの構想に賛意を示され検討される事になりました。行政が関わるこの様な施設に歯科医師会が参入して歯科診療所を設置し、その運営まで委託されるのは全国でも例がなく、関係省庁との折衝が難航し、これに当たられた市の担当職員の並々ならぬ苦労は忘れられません。

平成5年4月、常勤の歯科医師1名、歯科衛生士2名によりセンター来所者の刷指指導、検診、診療を開始しました。

その後10数年間にわたり利用者にも喜ばれ、収支を除けば実績も積み重ねてきましたが、介護保険との兼ねいや、不況による市財政の緊縮策の煽りを受け、訪問検診について本年3月をもって歯科診療所も閉鎖されるという残念な事態になりました。

多くの労力を要して開設し全国的にも知られ、各地から行政の方々が視察に来られる施設でしたので、逆にこの閉鎖は今後いろんな分野にマイナスに作用するのではと危惧しています。福祉政策には公的資金の注入が必須です。財政の悪化を理由に振るい落とされる歯科であっているのか、と自問しています。

平成18年4月から改正介護保険法に予防として口腔ケアが給付対象になります。せめて、この対応に残された歯科診療所と器材が有効利用されるよう願うのみです。

稿の終わりに、この一連の事業にあたって多くの方々に多大なご尽力を頂いたことに衷心より感謝申し上げます。

在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業

前会長 関 剛一



平成の初年、まだ日本の
歯科界には在宅で寝たきり
者に対する歯科保健・医療・
福祉の提供は充分に実施さ
れていないのが現状であっ
た。限られたグループによ
る往診は実施されていた様
に思われるが、通院不可能

な患者のニーズに対する対応は不十分であった。
又多くの患者自身も歯科往診は不可能であるとの
認識が強かった様に思える。

本会のこの事業の発端は、北部保健センター
の保健婦からの本会に対する寝たきり者の生活
現状と口腔内状況の報告、それに基づいて歯科
往診の強い要望であった。本会はその要望を北
部保健センター管内だけの要望ではなく広く熊
本市民全体の要望との認識から、平成元年熊本
市及び熊本市リハビリテーション協議会に働き
かけ、まずは熊本市の全寝たきり者の一般生活
状況、口腔内状況、又歯科往診の必要性を調査・
報告書としてまとめた。その調査報告書を基に
熊本市と本会は幾度となく意見交換・協議を重ね、平成3年7月より熊本市の本会への委託事
業としてスタートしたのである。

発足当初は大きな全身的风险をかかえた寝
たきり者への医療事故が生じないか一番危惧す
る所であったが、熊本市医師会及びリハビリテ
ーション協議会の強力な協力、特に主治医との連
携が密にとれ事故件数は1例もなかった事は喜
ばしい事であった。

本事業の最も重要な特色は

- ①全国に先がけて行政の委託事業として実施
- ②協力医（130名）の理解・協力
- ③熊本市医師会を初めとする熊本市保健医療
専門団体連合会の協力



④寝たきり者の歯科保健・医療・ケアの一貫
性

⑤治療前後のA.D.L調査実施
があげられる。

特に治療前後のA.D.L調査は全国初の試み
として実施。全身・口腔内状況と各項目すべて
好転し、寝たきり者の生活状況に好変化を与え
た事、又精神的な安定度が得られた事は大きな
特色であった。当時の厚生省からは「熊本市は
狂った様にこの事業に取り組んでいる」と高い
評価を受けた。同省は厚生科学研究として後に
「口腔内状況が他臓器に及ぼす影響」のタイ
トルとして調査研究を実施した事は本事業の熊
本市方式が大きな影響を与えた事は間違いない。

現在でこそ寝たきり者の歯科往診は全国の
歯科医師が一般的に実施している状況であるが、
そのパイオニア的役割を果たした熊本市歯科医
師会の本事業は国の高い評価を受け平成14年
には「厚生労働大臣表彰」を団体として受賞した。
本会会員、協力医の誇りであると思われる。

昭和63年、中根俊吾会長が就任以来、同会長
は多くの対外的事業を推進してこられた。本事
業はもとより、デイサービスセンター「長寿の
里」歯科室設置、入院入所者歯科診療、後方支
援病院締結等々。これ等の対外的事業は「本会
全会員の社会的評価を高める」という事が主目
的であった。たしかに熊本市行政・熊本市民・
医師会を代表とする医専連等々の歯科医師対
する認識評価は非常に高くなったと思われる。

本事業は平成16年度で終止しましたが、これ
もパイオニア的役割を果たしたという事でしょ
う。発足当所の田尻市長、又三角市長、幸山市
長及び健康福祉局、中根俊吾元会長、専任歯科
衛生士、協力医の先生方に絶大なる感謝の意を
表したいと思います。

最後に本事業発足当初より尽力し、本事業に
命を捧げた本田志保子主任歯科衛生士のご冥福
を祈らなければなりません。



6月5日（日）、今年も恒例となりました「2005歯の祭典」が、熊本市上通りアーケードにて行われました。今年のテーマは、市民の皆様ブラッシングを強調する意味において「歯ッスル、歯ッスル」にしました。



このイベントは歯の衛生に関する正しい知識の普及を図り、歯科疾患の早期発見、早期治療、予防措置を徹底することにより、市民の健康保持増進に寄与することを目的として行われ、熊本県歯科衛生士会熊本市支部および熊本市歯科技工士会の共催を得て熊本市歯科医師会が主催したものです。



矯正相談コーナー

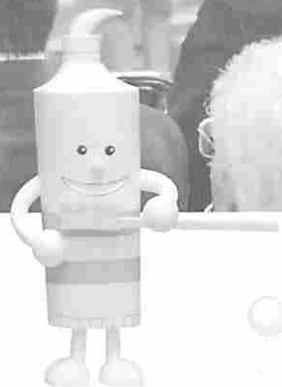
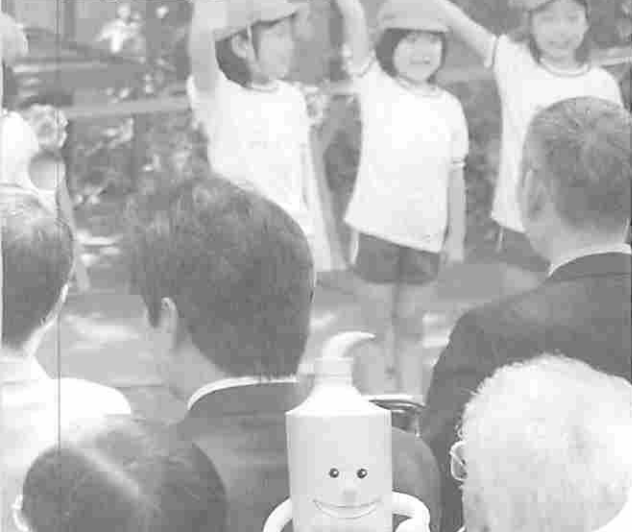


在宅訪問歯科コーナー



学院コーナー

歯ッスル 上通りイベント



今年は、オープニングセレモニーを去年と同じく紅蘭亭パビリオンにおいて行いました。午前10時30分より、古賀明会長の主催者挨拶で開会しました。また熊本市長幸山政史氏（代読、田中亮子健康福祉局局長）と熊本市議会議長古川泰蔵氏から祝辞をいただき、同議員江藤正行氏、下川寛氏、三島好幸氏、熊本県歯科衛生士会熊本市支部植山紀子支部長、熊本市歯科技工士会玉置泰伸会長に加わっていただき、テープカットにてセレモニーを終了しました。



歯科技工士会コーナー



今年は特にアンケートに変え、スタンプラリーを行いました。2つのコーナーに行かれてスタンプを押してもらったら景品を差し上げるシステムにしました。当初、健診者が来ないのではないかと心配しましたが、盛況に終わり、2～3年はこの方式で行おうと思っております。

尚、各コーナーの集計結果は、7ページに掲載しています。

（公衆衛生 興儀実彦）



よい菌のピエロショー

6月4日(土)、熊本市子ども文化会館において例年通りよい菌のピエロショーが行われました。

このショーには400名程度の来場者がありました。また、これと同時に公衆衛生委員8名による歯科健診を催し、281名の健診を行いました。

このイベントは熊本市が主催するもので我々が協力するという形態をとっており、各保健福祉センターの歯科衛生士が位相差顕微鏡により口腔内細菌を見せてあげたり、ブラッシング指導、フッ素塗布、デンタルグッズの紹介をしました。また、8020推進委員の方々も来られ、受付等をしておられました。

口臭検知器も2台設置して、希望者の方の口臭測定を行い、80名程度の測定を行いました。

すべて正常値の範囲内でした。

健診者は半分以上が6才以下の幼児で、その親もついでに健診するというパターンが多く見られました。

健診結果としましてはカリエスは少なく、矯正の相談が多かったようです。

よい菌のピエロショーは午前、午後の2回のショーを行いました。福岡の風船マジックのお兄さんが、風船をいろんな形に作り上げ、子供達が喜んでもらっていました。

このイベントは5回目になりますが、歯科の啓発活動には最適であり、来場者の数も多く、また、来場された方々からも好評を得ております。今後共継続していただきたいと思っております。

(公衆衛生 興儀実彦)

歯の衛生週間・各コーナー集計表

平成17年度 歯の衛生週間 上通イベント来場者数

	コ ー ナ ー 名	来場者数
1	スタンプラリー参加者	753 名
2	歯の何でも相談コーナー (口腔外科相談コーナー含)	97 名
3	矯正相談コーナー	48 名
4	小児歯科コーナー	85 名
5	歯科衛生士会コーナー	37 名
6	在宅訪問歯科コーナー	37 名
7	口臭検知器コーナー	122 名
8	技工士会コーナー	330 名 (石膏人形配布)
9	熊本歯科衛生士専門学校コーナー	7 名

平成17年度 歯の衛生週間 上通イベント実施結果

1. スタンプラリー参加者 753名

今年度より、初めてスタンプラリーを導入しました。2ヶ所のコーナーでスタンプをもらうと景品を差し上げるシステムにしました。その影響もあると思いますが、各コーナーの人数が昨年度より増えています。

2. 歯の何でも相談コーナー 97名
(口腔外科相談コーナー含む)

相談内容	年 齢 別 内 訳									
	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
1. 歯周疾患	2	1	2			3	4	2		14
2. 色調異常	1		1			1				3
3. 歯列咬合	2	2	3	1				1		9
4. 顎関節症							1			1
5. 義歯						2	3	6		11
6. 矯正	1									1
7. 智歯		1	4	3			1		1	10
8. 口臭					1					1
9. ブラッシング指導	1									1
10. 抜歯										0
11. むし歯	2	1	2	1		2	1	1		10
12. 補綴物				2	3					5
13. インプラント						1	2			3
14. キシリトール										0
15. その他	3	4	6	5	3		2	5		28
合 計	12	9	18	12	7	9	14	15	1	97

※口腔外科コーナーは、2名でした。

3. 矯正相談コーナー

48名

相談内容	年 齢 別 内 訳									
	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
1. 上顎前突	1	1	1							3
2. 叢生	9	4	5	2		1				21
3. 下顎前突	3		1	3						7
4. 開咬			1							1
5. 交叉咬合										0
6. その他	6	2	3	1	1		2	1		16
合 計	19	7	11	6	1	1	2	1	0	48

※その他（変色、食事、本人以外の相談）

4. 小児歯科コーナー

85名

相談内容	年 齢											合計
	1歳未満	1～2歳	2～3歳	3～4歳	4～5歳	5～6歳	6～7歳	7～8歳	8～9歳	9～10歳	10歳以上	
1. う蝕			3	5	3		2	2	3		1	19
2. フッ素	1	2			2		1		1			7
3. 萌出時期					1	1	3	2		1	1	9
4. 歯列咬合		1	3	2	1	1	4	3	2	1	1	19
5. 悪習慣		1			1							2
6. 色調異常	1		2						1			4
7. 歯磨き方法	3	2	2				1			1	1	10
8. その他	1		3	3	1	4						12
9. 不明		1				1		1				3
合 計	6	7	13	10	9	7	11	8	7	3	4	85

※その他（検診）・不明（本人以外の相談）

5. (1) 歯科衛生士会コーナー

138名

指導内容	年齢	年 齢 別 内 訳								
	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	合計
1. 歯ブラシ選択とブラッシング方法	18	11	6	7	2	1	5	3		53
2. 歯間ブラシ・フロス		1		2		1	3	1		8
3. 仕上げ磨き	14	2		3						19
4. 早期治療		2				1		2		5
5. 定期健診	2		2	1	2	1	2	2		12
6. 食事・おやつ・母乳	3									3
7. フッ素・キシリトール	11		2	3				1		17
8. 口腔ケア								1		1
9. 義歯管理							3	1		4
10. 歯肉炎・歯周病				1	1					2
11. 着色			2	1			1			4
12. その他	2				1					3
13. 他コーナー紹介	4	3								7
合 計	54	19	12	18	6	4	14	11	0	138

※その他（インプラント、シーラント、唾液）

性別	年齢	年 齢 別 内 訳								
	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
1. 男性	26	7	4	5	2	2	4	2		52
2. 女性	28	12	8	13	4	2	10	9		86
合 計	54	19	12	18	6	4	14	11	0	138

(2) 体験コーナー

137名

年齢 指導内容	年 齢 別 内 訳									
	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	合計
1. 唾液PHテスト	20	9	9	16	8	9	13	4		88
2. 位相差顕微鏡	9	7	9	9	5	6	2	2		49
合 計	29	16	18	25	13	15	15	6	0	137

※唾液PHテスト：午前で終了

年齢 性別	年 齢 別 内 訳									
	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
1. 男性	16	5	4	5	4	1	0	2		37
2. 女性	13	11	14	20	9	14	15	4		100
合 計	29	16	18	25	13	15	15	6	0	137

6. 在宅訪問歯科コーナー

37名

年齢 相談内容	年 齢 別 内 訳									
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	不明	合計
1. 在宅訪問歯科					2					2
2. 口腔ケアの方法					4		1	1		6
3. ブラッシング方法		6		1	5	2	1			15
4. 歯間ブラシ・フロス					3					3
5. 電動ブラシ		6								6
6. 義歯管理					5					5
合 計	0	12	0	1	19	2	2	1	0	37

年齢 性別	年 齢 別 内 訳									
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
1. 男性		6		1	5	1	1	1		15
2. 女性		6			14	1	1			22
合 計	0	12	0	1	19	2	2	1	0	37

7. 口臭検知器コーナー

122名

今年度より口臭検知器を2台に増やしたので、人数が2倍になりました。口臭を気にしている方が多くいると考えられます。

8. 技工士会コーナー

330名

石膏模型配布

相談者 24名（義歯・インプラント等）

9. 熊本歯科衛生士専門学校コーナー

7名

学校の内容、授業料等

（公衆衛生 興儀実彦）

熊本市歯科用品商組合と 熊本市歯科医師会との懇談会

8月5日(金)午後7時30分より標記懇談会が県歯会館第1会議室において行なわれました。出席者は下記のとおりです。この懇談会は未入会者対策の目的で開催され、本会から合澤副会長、用品商組合から「カドカワ」の門川様の挨拶の後、矢毛石専務の司会によって進められました。

現在熊本市内には分院を含め42診療所が未入会となっております。何故未入会なのか用品商組合の方々からみた意見をうかがい簡条書にしてみました。

『何故未入会』

- 開設資金でいっぱい
- 運転資金がない
- 入会金まで払えない
- 品用商が勧めても言うことを聞かない
- 入会は後回しでよいとコンサルタントが言っているようだ
- メリットがないと言う人が多い
- 入会しなくてもやっていける
- 分院なので
- ぎりぎりの範囲で開業している
- 県外の業者がタッチしている場合は入会を勧めていない
- 業者が先に場所を見つけてその後ドクターを捜す(県外の業者)
- 軌道にのったら入会してもよい
- 入会金が高い時に未入会で開業し慣れてしまったので今更入会しなくてもよいと思っている
- 以前入会しようとした人が支部長の印がもらえずそのままになってしまった

○資金面とメリットの
ことを言う

○開業資金の中
から必要なものの
順序を決めると入会金
は後廻しになってしまう

等々の意見が出ました。又、歯科の活性化についてもうかがいました。

『注意すべき点』

- 清潔さが目に見えること。見せつけること
- 受付での患者に対する説明
- 経営セミナーに参加しては
- 患者とのコミュニケーション
- 昔のいい時代を経験した人には患者との接し方が雑な人がいる
- 説明に十分な時間を割いている所は、はやっている
- 患者とおしの口コミが一番(広告より効果大)
- スタッフとのコミュニケーションがとれていない
- 設備投資をもっとしたら
- 治療の後患者が満足して帰っているか
- 増患という言葉はよくない(患者さんが聞いている)
- 経費節減という言葉もよくない(患者さんが聞いている)
- 患者サイドに立ってみてはどうか
- 患者とのインフォームドコンセントだけではダメで、スタッフや地域住民にも情報提供を
- 患者の立場に立ち、まずは患者に共感すること

等々の意見が出ました。我々歯科医師が気づかないことも多々あったように思いました。

現在入会相談に関しては藤波副会長が窓口となって対応しています。会員の先生方の知り合いの方が開業される場合、藤波副会長に相談されるようご助言をお願いします。又用品商組合の方々にも新規に開業される方があれば入会を勧めて頂きたいということをお願いして閉会となりました。

(常務理事 蔵田幸一)



熊 本 県 歯 科 用 品 商 組 合		熊 本 市 歯 科 医 師 会
アワズデンタル (栗津 様)	カドカワ (門川 様)	合澤副会長
河野歯科商店 (黒田 様)	多山歯科商店 (小出 様)	藤波副会長
トーデント九州 (吉永 様)	フロンティア (柴矢 様)	矢毛石専務
ユーケイデンタル (中園 様)	優メディクス (河野 様)	蔵田常務
中九州みどり (江藤 様)	熊本デンタル販売 (荒巻 様)	田中理事
八代歯材 (西坂 様)		



ビアパー



7月9日(土)午後6時30分より恒例の熊本市歯科医師会親睦ビアパーティーが開かれた。今回で29回目であり、会場も新たに三井ガーデンホテルに代わり、また若手の先生方も増え、例年以上に活気のある雰囲気であった。

まず最初に古賀明会長より主催者を代表して挨拶があり、御来賓として県歯より堤直文会長、菅原洋副会長、浦田健二専務理事、犬東美尚理事、伊藤明彦理事をお招きし、また今回は荒尾市の新富士雄専務、上益城郡の江藤寛文専務、天草郡市の守口茂樹専務にも参加頂きました。御来賓を代表して堤直文会長よりお言葉を頂き、続いて前会長の関剛一先生による乾杯の御発声



ティーン'05



で開宴となった。

今年は、特別な出し物はなかったが、おいしい料理とお酒で結構盛り上がった。宴もたけなわとなったところで恒例のビンゴゲーム大会が始まり、ビンゴの景品には松坂牛、ワイン、外国製の物など盛りだくさんの内容で皆さんに大変喜んで頂いた。その後、それぞれ酒を酌み交わしながらにぎやかに話が弾んでいるうちに終宴の時間となり最後は合澤康生副会長の閉会の辞と万歳三唱で終了となりました。多数の御出席、有り難うございました。来年も宜しくお願いします。

(厚生 前田邦治)



平成17年度前期歯磨き巡回指導報告



熊本市学校保健会において事業化され今年度は3年目となりました。学校歯科医11名の先生方には、積極的出務、協力ありがとうございます。御礼を申し上げます。

6月1日(水)の楠木小学校をかわきりに6月29日(水)銭塘小学校に至るまで10校指導致しました。

学級数 3学年30クラス児童数 765名

第75条学級14クラス児童数 37名

出務指導歯科衛生士数(3年生担当) 52名

(第75条学級担当) 16名

協力歯科衛生士数 19名

事前打ち合わせ指導歯科衛生士数 20名

学校歯科医 11名

熊本市歯科医師会(学校歯科委員会) 12名

熊本市歯科医師会協力要請による出務者総計140名となります。先生方お疲れ様でした。

今回の巡回指導にあたり、各学校長はじめ、養護教諭、担任の先生方には当日大変お世話になりました。教育委員会の皆様方、執務お疲れさまでした。

平成17年度小学校歯みがき巡回指導(前期)実施表

実施対象者 小学3年生・第75条学級

実施期間 平成17年6月

		6月1日 (水)	6月6日 (月)	6月8日 (水)	6月15日 (水)	6月17日 (金)
学校名		楠	松尾東	城南	黒髪	山之内
時間目		3時間目	3時間目	5時間目	5時間目	5時間目
時間		10:50~11:35	10:45~11:30	14:15~15:00	14:05~14:50	14:10~14:55
時間(第75条)		10:50~11:35			14:05~14:50	14:10~14:55
学級数		3	2・3年複式	2	3	3
児童数		96名	9名	52名	82名	96名
第75条学級数		2			1	2
児童数		4名			2名	5名
担当歯科 衛生士	3年生	高柳 徳子 村上佳津江 梅田なおみ 大村加代子 西田 千穂 豆塚奈穂子	天野 富子 梅田なおみ	増田 真理 高柳 徳子 西村佳寿子 梅田なおみ	村上佳津江 向江 恭子 大村加代子 梅田なおみ 豆塚奈穂子 佐藤 成美	吉川 郷子 豆塚奈穂子 西田 千穂 向江 恭子 大村加代子 藤本 裕子
	第75条	前淵 隆子 天野 富子			前淵 隆子 天野 富子	前淵 隆子 天野 富子
人数		8	2	4	8	8
	3年生	高本	高本	西田・天野	藤本	
	第75条	向江			植	植
		5月25日(水) 午後2:00	6月1日(水) 午後2:00	5月25日(水) 午後2:00	6月7日(火) 午後2:00	6月9日(木) 午後2:00
		前淵・村上	天野・梅田	増田・梅田	前淵・大村	西田・大村
		9:45		1:00	1:20	1:00
学校歯科医		後藤 俊一	菅野 至仁	伊藤 友己	緒方 孝則	合澤 康生
学校歯科委員会		澤木 孝明	斉木 智章	斉木 智章	吉崎 久次	井手 裕二

指導者 熊本市歯科医師会、熊本県歯科衛生士会熊本市支部

挨拶 学校歯科医、歯科医師会 保健指導 むし歯のでき方、歯垢染色、歯磨き指導等

この場をおかりして、御礼申し上げます。11月には後期歯磨き巡回指導が始まります。引き続き歯磨き巡回指導（歯と口の健康教室）をよろしくお願い致します。

熊本市立小学校80校を巡回するのに5～6年を要しますが、この巡回指導が単なるイベントとして終わることなく、これを機会に各学校において、昼食後の歯磨き習慣が定着し、より良い生活習慣が家庭に持ち込まれます。良い習慣を家庭に持ち込むと、このサイクルが生活習慣改善に役立ちます。最後に！

各学校を巡回致しまして思われることは、

1. 養護教諭の熱意
2. 学校責任者である校長先生の理解
3. 学校歯科医の意識の向上

三者の協力こそが健康教育が成功するか否かの要となると思われます。

追記

今回の学校歯科委員会の先生方の診療所の勤務歯科医師、歯科衛生士の執務依頼をしたところ、真に快く承諾して頂きありがとうございました。これを機に指導歯科衛生士が次々と生まれることを希望いたします。

（学校歯科 澤木孝明）



		6月21日 (火)	6月22日 (水)	6月24日 (金)	6月28日 (火)	6月29日 (水)
学校名		大江	田迎	弓削	龍田	銭塘
時間目		3・4時間目	5時間目	4時間目	3時間目	5時間目
時間		10:40～11:25	14:10～14:55	11:40～12:25	10:50～11:35	14:10～14:55
時間（第75条）		11:35～12:20	14:10～14:55	11:40～12:25	10:50～11:35	14:10～14:55
学級数		3	4	2	4	1
児童数		84名	140名	49名	135名	22名
第75条学級数		2	3	2	1	1
児童数		7名	5名	4名	8名	2名
担当歯科 衛生士	3年生	向江 恭子 村上佳津江 大村加代子 豆塚奈穂子 西田 千穂 高柳 徳子	豆塚奈穂子 西田 千穂 村上佳津江 大村加代子 高柳 徳子 藤本 裕子 吉川 郷子 梅田なおみ	西田 千穂 佐藤 成美 向江 恭子 吉川 郷子	大村加代子 向江 恭子 高柳 徳子 西田 千穂 豆塚奈穂子 佐藤 成美 村上佳津江 吉川 郷子	村上佳津江 西村佳寿子
	第75条	前淵 隆子 天野 富子	天野 富子 前淵 隆子	前淵 隆子 天野 富子	天野 富子 前淵 隆子	高本留美子 天野 富子
人数		8	10	6	10	4
	3年生	植	植	豆塚	高本	高本
	第75条	高本	高本	高本・高柳	植	植
		6月15日（水） 午前11:00	6月16日（木） 午前11:00	6月15日（水） 午前11:00	6月22日（水） 午前11:00	6月23日（木） 午前11:00
		豆塚・天野	天野・西田	前淵・向江	前淵・大村	天野・西村
		10:00	1:00	10:30	9:45	
学校歯科医		宇治 寿康	中原 孝 出口 大平	村上 雄二	伊東 隆利 伊東 泰蔵	吉良 裕明
学校歯科委員会		清水 睦博 井手 裕二	福本 聡子	西 正浩	前田 明浩 井手 裕二	澤木 孝明



クールビズでフランクな交流

—恒例の三歯会開催—

7月14日（木）午後7時半より毎年恒例の三歯会が行われました。



いつもは歯科医師会館の会議室で行われるのですが、今回は現執行部3年目ということもあり、会場を歯科医師会館そばのお店に設定して親睦を深めました。

当日は猛暑の中、技工士会より玉置会長以下3名、衛生士会より植会長以下7名、歯科医師会より藤波副会長以下医療管理委員会、学校歯科委員会、公衆衛生委員会、広報委員会の先生方を含め、総勢27名のご参加をいただきました。

尾上委員長（医療管理委員会）の司会のもと、まず歯科医師会より藤波副会長から歯科医師会の現状として、個人情報保護法案に対する対応、市在宅診療の終了、歯科医師会館建設に関する事項などの報告が行われました。続いて技工士会より玉置会長から歯科界の厳しい現状を打破

するために、より一層の深いつながりと協力が必要である事、衛生士会より植会長から最近の活動として、幼稚園のフッ素塗布や妊婦健診に対する活動報告が行われました。その後、清村常務の乾杯の発声により、あとはお酒を交えながら、それぞれ席を移動しながら親睦を深めていきました。今回は、国会にならってクールビズということでノーネクタイでよりフランクな交流がはかれたのではないかと思います。

やはり、三歯会はそれぞれが単独で存在する事はありません、歯科界を少しでも良くするためにはさらなる協力が必要であり、会員末端まで届く情報交換や懇親の場をこれからも用意する必要性を感じさせられました。



最後は三歯会のますますの発展を祈念して万歳三唱を行い、その後はまだ暑さの残る夜の街にそれぞれ消えていきました。

最後に、技工士会より会議だけでなく、レクリエーション（ミニバレー等）を通してのさらなる交流は出来ないか、衛生士会より、三歯会としての会議は懇親会形式よりテーブルについての話し合いが良い、学校巡回指導時の資料の置き場を確保してほしいとの要請がありましたので、今後の検討事項としました。

（医療管理 宮本格尚）



第3回熊本市地域歯科保健研修会

8月20日（土）、午後2時より午後4時迄、熊本市役所14階大ホールにて、第3回熊本市地域歯科保健研修会が行われました。

初めに、「地域でしたこと、できること」をテーマに、8020推進員東保健福祉センター会長の坂口貞子氏、熊本市歯科医師会理事、興儀実彦氏、歯科衛生士会熊本市支部長、植 由紀子氏、熊本市歯科技工士会専務、増田和博氏、中央保健福祉センター歯科医師、福島節子氏、南保健福祉センター歯科医師、横山美香氏、の5名の意見発表の後、古賀会長を座長にシンポジウムを行いました。

ここでは8020推進員の方々からの質問が多かったです。

- ① 地域で歯科的なイベントを開催したいのですが、歯医者さんは来てくれるかどうか。また、それはどこに問い合わせればよいか。
- ② 小さな子供を連れて治療をしなければならないのですが、世話をしてくれる歯医者さんはいないか。
- ③ 歯科医師会として会員の皆さんに治療内容をよく説明して治療に入る様指導してください。
- ④ 熊本市子ども文化会館での無料健診では先生方は白衣ではなく、Tシャツ等で健診をされてはどうか。

以上の様にさまざまな質問要望がありました。

その後、10人程度の小グループ5つに分かれて意見交換が行われました。

私のところでは、8020推進員の方から、まだ何をやって良いのかあまりはっきり分からないとの意見が出され、それに対する説明等を行いました。

この研修会は熊本市地域保健福祉課が主催するものでありますが、8020推進員制度を設け、地域での歯科の啓発を行っていただこうと

言う意図がありますが、この制度は歯科医師会としても非常に推奨するもので、今後とも長く継続してもらいたいと思います。

（公衆衛生 興儀実彦）

ワーキンググループD班では、テーマが「歯科医師会に要望すること」に決まり討論が始まりました。まず歯科健診相談の話が出て、本会では上通りでの「歯の祭典」、「熊本市民健康フェスティバル」等で歯科健診・相談を行っていることを説明しましたが、8020推進員の人から場所が遠いから行けないという意見が出ました。そこで今年は「熊本市民健康フェスティバル」は会場を「パレア」に移して行われることを説明しましたが、やはり熊本市の中心部だからという返答でした。中心部ばかりでなく廻りの地域で健診をやってほしいという意見が出ました。ただ開催場所が多くなると本会（特に公衆衛生委員会）のマンパワー不足が考えられるので無理ではないかと返事しました。また、北部での「ふるさと立田の夏祭り」に関して意見が出ました。これに関しては近所の先生方の協力を得て歯科健診、相談を行っていることを説明しました。このような地域での催し物等の時は歯科医師会では健診・相談の申し込みを受け付けて



くれるのか、という質問には出来るだけの協力はしたいと思う旨返事しました。つぎに、ある行政の歯科衛生士の方々が、以前会社等での歯科健診・相談を尋ねられましたが、行政で対応できないという返事をしたそうです。そのことに関して我々に質問が及びました。本会も会社等での歯科健診・相談は無料では出来ないという返事をしました。このことについては県歯科医師会に企業健診（有料）の申し込みをされたらどうですかと答えました。さらに、新樹会の動物園での健診について尋ねられました。歯科医師会とは別組織ですが、こちらは年に1度行っていることを説明し、パンフレット等を幼稚園、保育園に配布することが可能かどうか新樹会に聞いてみることにしました。

（常務理事 蔵田幸一）

グループC班では小学校歯磨き巡回指導が、継続して行われていることを知らない方が多く、8020推進員としてその場に参加連携した



いとの意見要望がありました。保健福祉センターと健康教育課とで管轄が異なり、個人情報保護の点で連絡ができにくい点が障害となるようです。行政の方でなんとか方策を考えてもらいたいところ。

また、上通りイベントなどへ8020推進員が関われないかとの要望もありました。今後の課題として考えていくことになりました。

（広報 古川猛士）

お 勧 め の 一 枚

The Living Room Tour/carole king

Living room に居る感じでどうぞ、という名前の2004年のコンサートツアーから。名作『つづれおり』から30数年。いまだに衰えない美しい声。ピアノ、ギター、ベースというシンプルな音をバックに私ももう63歳になるのよ、とか笑いながら唄ってます。まさしくポップスの王道を行くような彼女のありように感動します。曲は「つづれおり」から新曲までキャリアの長さがにじみ出るものばかり。モンキーズが昔歌った曲もあったりして。1枚目のラスト、『will you love me tomorrow』客席と一緒に歌うところはジーンと来ます。フェミニズムに目覚めたわけじゃないけど、でも男性主導の歌詞だったから母娘の歌詞に変えたのよといって『where you lead』を娘のルイズと一緒に唄ったりもします。いいですよ。私のレベルでもしっかりわかる英語です。例によって輸入盤です。何しろ2枚組なのに2000円以下で買えました。あとROCK魂がにじみでる

Live@ Filmore /Lucinda Williams こちらはこわもてライブ2枚組
それからなぜか最近はやってるベスト盤

duchess of coolsville an anthology /RICKIE LEE JONES こちらは3枚組ながら1枚は未発表曲ばかり。この人は声も楽器のひとつと思ってるようで、しっかり聞き込まないとわからない歌もあるのですが、ファンとしては無視できぬ。

ブラッシングの最大の目的は？

—スタッフ研修セミナー開催—



6月11日（土）、熊本歯科衛生士学院5階にてスタッフ研修セミナーが開催された。初めに古賀会長より開催の挨拶があり、続いて（株）GC九州営業所より歯科衛生士の新飼恵未氏、古谷幸子氏の両講師の紹介があり、受講生34名が2班に分かれて講義と実習が行われた。内容は、材料実習①、②（セメント、印象材、石膏）とブラッシングセミナーで以下の日程に進んだ。

- 14：30～15：30 材料実習①
- 15：30～16：30 材料実習②
- 16：30～16：50 片付け、休憩
- 16：50～17：50 ブラッシングセミナー
- 17：50～ 質疑応答

材料については、アルジネート印象材による印象採得と石膏模型作製の手順で、トレーの選択、試適、粉末の計量、水の計量、練和、混水比の注意、トレーへの盛り付け、歯牙への塗布、トレーの圧接、印象の清掃、続けて、石膏の計量、練和、脱泡、石膏注入、トレーからの撤去、トレーの清掃まで一連の流れで実習が行われた。

石膏を流す際バイブレーターの強さが強すぎた為、模型に気泡が入ったり、トレーに石膏を盛る時多過ぎて模型が外れなかった受講者もいたが、失敗をする事でしっかり覚えた様子だった。

次に、リン酸亜鉛セメントの練和の手順について、JIS法での説明があった。粉末の計量、液の滴下と粉末の分割、練和（粉を6分割して、1分30秒で練和）、練和完了。標準の硬さは、スパチュラの先にすくいとり、2秒で垂れ落ち

る程度とする。さらに使用したスパチュラは、すぐ水につけておくようにする。

他の材料では、ガラスアイオノマーセメント、光硬化型セメント、光硬化型コンポジットレジンについて説明があった。

材料実習後、ブラッシングの講義が行われた。ブラッシングの最大の目的は「健康な歯肉、口腔の獲得である。その方法として①毛先磨きが大切で、毛先で落とす。②毛先を直角に当てる。刷面を使い分ける。歯面を分けて考える。③歯ブラシは、歯面に軽く当てる。力の入れすぎは、「三重の損」で、竹ぼうきに例えて説明があった。力を入れすぎると先が広がり狙った所に当たらない。持ち方は自由で決して（患者の歯ブラシの持ち方を）否定しない事が大切である。

次に鉛筆を使った歯ブラシ実習について説明があった。

【鉛筆実習】

ブラッシングの正しい力加減を「Bの鉛筆」を使って体得。

1. 歯面をぬらす
2. Bの鉛筆で歯面に印を書く。
3. 2～3往復で汚れを歯ブラシで落とす。
 - ・正しい力加減（50～100g）だと、2～3往復で落ちる。
 - ・力が強過ぎたり、歯面に毛先が当たっていないと汚れを落とす事はできない。
 - ・「歯ブラシの向き」、「当て方」、「力加減」など自分自身の工夫が必要となる。
4. 鉛筆の汚れが落とせたら、赤染めしたブラー

クも同じように落とせる。



【鉛筆実習のメリット】

赤染めしたブランクは1度落としてしまうと見る事ができない。

- ・鉛筆は何度でもできる。 ・手軽にできる。
- ・短時間で出来る。

(注) 鉛筆を口腔内で使用しても害はないと
のことですので安心してお使いください。
(鉛筆メーカーに確認済みです)

【実習手順】

- ①中央に「点」 ②中央に「縦線」



- ③中央に「横線」 ④歯頸部に沿って「線」



【歯ブラシの選択】

どの歯ブラシが歯をきれいにするか？より、
歯ブラシをどのように使うかが大切です。使い
こなしやすい歯ブラシは・・・

- ・毛先の加工がされているもの
- ・ヘッドの大きさはコンパクトで小回りがきくもの
- ・ネック・ハンドル部はストレートでスリムなもの
- ・刷面は平らなもの
- ・毛の硬さはM(普通)、S(ソフト)、U(ウルトラソフト)

【歯ブラシの消毒】

耐熱温度 100℃ ⇒ 煮沸消毒
100℃未満 ⇒ 薬液消毒

【指導法】

①2度染め方法

磨く→ 染め出す→ チェック→ 磨く→
染め出す→ チェック→ 磨く

<メリット>

担当者が変わっても対応できる
予後の経過が観察できる

②チャート記録方式

医院内で統一したチャート用紙を用意し、
記入していく

<メリット>

担当者が変わっても対応できる
予後の経過が観察できる

③ワンポイントレッスン方式

指導をする部分を狭い範囲に限定して行う
方式

全体を見ていくと磨き落とすことだけに集
中してしまい本当に伝えたいことが伝わらな
い

<メリット>

1. 一箇所への指導の為、短時間で簡単にで
きる
2. 「1ヶ所だけなら・・・」とよくやって
くれる
3. 他の部分への波及効果も期待できる
ポイントを選ぶコツは？

- ①患者さんが気にしている部分
- ②歯肉の変化(出血・発赤)がみられやすく、
わかりやすい部位
- ③手鏡で確認しやすい部位(前歯部→臼歯部)



歯科医院において患者様との意思の疎通を計
る上でも歯科衛生士は大切な役割を担ってい
ます。予防が取沙汰されている今日、患者様に安
心して来院してもらうためにも更なる知識と技
術の向上が求められると思われます。セミナー
は受講生にとって有意義な時間になったと思
います。また来年もぜひ開催したいと思いま
す。多くの受講生の参加を願い、さらなる歯科
医院の向上につながっていけばと思います。

(医療管理 有働秀一)

自信をもって自由診療をすすめる前に

熊本市開業 宮田 正孝

審美治療真っ盛りの昨今、私にとって様々なトラブルを抱え、再来をされる患者さんに自由診療を胸張って勧めることには勇気が必要です。将来、予想出来ないトラブルも十分考慮に入れ、補綴治療をすすめていく必要がありそうだ。再根管治療が必要な際、除去できそうにない接着レジンを使用したコアや、長く、太いメタルコアには頭を悩ませる。せめて、再根管治療を必要とせず上物のみのやり替えて済むのなら気が楽だ……。

そんな思いで今回、「今さら……」の根管治療について私見を述べさせていただきます。

非感染根管で根尖が開放していない場合は漏洩がないように、生理的根尖孔を目安にアピカルストップを明確に付与して根充すれば良いようだ。が、以前より「根管長の設定」のみが問題とされていたようである。3次元的に根管を考えてみると水平断した根管の形態の考慮も必要となるであろう。ご存知のとおり、ほぼすべての根管の形態は圧べいされた形態である。しかし、そんな根管で仕事をするのは、クルッと回すとまん丸のファイルだ。丸の状態のまま太く拡大を続けてもファイルがとどかない軟組織が線状に残存してしまう。ひいては感染源ともなりうると思われる。そこで、私は根管形態を考慮した根管形成を心がけている。

感染根管の場合は十分な根管の感染源の除去が必要で、根尖孔が開放していることもありアピカルストップの付与が出来ない場合もある。

歯牙解剖の成書を見てみると参考になるであろう。

細菌の培養や各種薬剤を使用する根管治療も紹介されているが、機械的清掃が十分なされた上で行うことだと理解している。

私が実践して、練習用の模型でやってみて気づいたことは、意識して根管壁にファイルを押し当てて拡大してみても、その思いとはうらはらに根管上部のみが拡大されてしまうということでした。わたしの感覚では軽いタッチの根管形態を意識した円周ファイリングが有効なようだ。

参考文献

エンド・ペリオの臨床的診断力を探る '98 クインテッセンス
THE ENDODONTICS 月星光博

エンドのケース

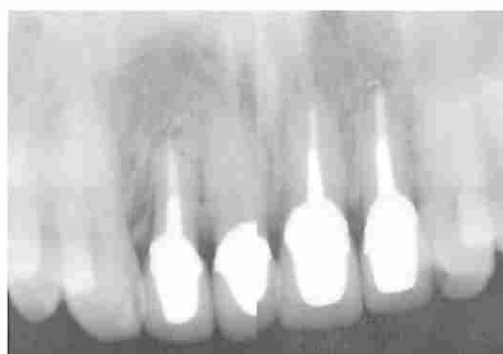
2 | 2 感染根管

1 | 非感染根管

73才 男性

初診時

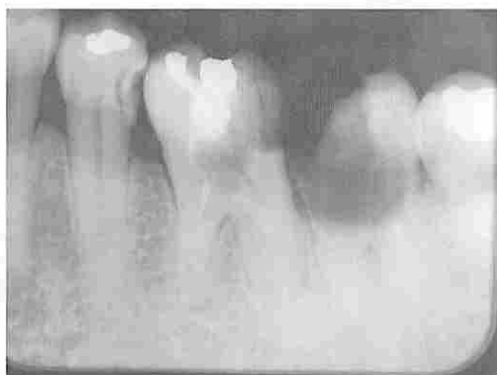




31才 男性

6 急性根尖性歯周組織炎





2 根管の根充後

根充後3ヶ月
レジン充填で修復した。

44才 女性 | 6 Per、7 C4、5 Pul



FC貼薬後に 6 根充した。



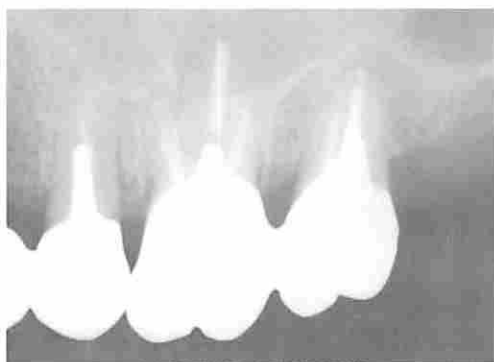
1年6ヶ月経過時
7 の部位に 8 を移植している



48才 女性 4 C 4、 67 Per



7 は排膿 +++ で4ヶ月間ビタベックス貼薬後に根充した。
6 は数回のFC貼薬後に根充した。4根管であった。



根充後4年経過時



初診時



根充後メタルコアセット時

6 非感染根管

5 歯髄炎



補綴終了時

熊本市学校保健功労者表彰を受けて

柿原 訓



この度、思いがけなく学校保健功労者の表彰を受けまして、関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。

平成2年から15年間、兄 柿原康男のあとを受け、春竹小学校の歯科校医を委嘱され、その間、通り一辺の健康診断業務だけで特別の業績を残せた訳でもなく恐縮しております。

春竹小学校の創立は明治6年、今年で132年を迎えます。5代に渡り、御世話になった学校です。それだけに特別な愛着を感じております。又、鉄筋コンクリートの校舎としては市内の学校で最も早く建ったため、手洗い場、洗口場などの設備が少なく、昼食後の歯磨き指導等に苦慮していると聞きます。

学校歯科検診を行って気付く事は、昔に比べると、むし菌が減り、菌石が多く付着している事です。乳歯、永久歯を問わず、むし菌そのものが減ってきている事と、処置歯が非常に多い事です。早期治療の賜と思われます。その反面、永久歯の歯並びの悪さが目に付きます。永久歯

の萌出時期の顎堤の大きさが充分でない為、永久歯がきれいに並ばない現象が起って所謂、犬歯の唇側転位が起りやすくなっている事です。最近ファーストフード等、柔らかい食物が多くなったため、咬まなくなってきた顎の発育が悪くなって、顎が小さくなってきていると云われていますが、唯それだけではない様な気がします。それから下顎前歯舌側の菌石の多い学童が見受けられます。

学校歯科検診は色々問題点はあるかと思いますが、確実に児童のむし菌を減らしていると思います。

熊本県の12才児のDMF歯数は3.0前後だと記憶しております。健康日本21の中では、12才児のDMF歯数の目標を1.0以下にしています。フッ素の使用が遅れている為、日本は世界の先進国だと云われていますが、むし菌に関しては後進国だと云われています。一生自分の歯で食事が出来て、食べる事を楽しむ、そんな人生であれば、病気も遠ざかると思います。





スポーツの広場



あつまるデンタルゴルフ会

4月17日		16名				
		O	I	G	H	N
1位	河野敬明	46	47	93	20	73
2位	山室紀雄	43	47	90	16	74
3位	森一	48	46	94	19	75
4位	奈良健一	43	45	88	12	76
5位	宮崎幸一	43	50	93	15	78
B.B.	大森秀則	56	49	105	21	84

5月22日		12名				
		O	I	G	H	N
1位	井口泰治	46	41	87	14	73
2位	七川洋一	47	45	92	18	74
3位	宮崎幸一	48	42	90	15	75
4位	合澤康生	48	45	93	16	77
5位	永田博久	62	52	114	36	78
B.B.	寺島美史	61	54	115	30	85

6月26日		8名				
		O	I	G	H	N
1位	大森秀則	46	47	93	21	72
2位	宮崎幸一	47	42	89	15	74
3位	本田治夫	51	47	98	23	75
4位	谷川貞男	40	46	86	10	76
5位	河野敬明	48	51	99	19	80
B.B.	坂井満	48	49	97	14	83

熊本デンタル

4月24日 空港カントリー		12名				
		O	I	G	H	N
1位	松本光示	39	41	80	6	74
2位	大嶋健一	42	41	83	8	75
3位	本田亘	47	45	92	16	76
4位	添島正和	44	48	92	16	76
5位	田中弥信	49	57	106	30	76
B.B.	坂梨常太郎	51	60	111	17	94

5月29日 空港カントリー		10名				
		O	I	G	H	N
1位	松本光示	40	34	74	5	69
2位	添島正和	39	47	86	16	70
3位	本田亘	47	43	90	16	74
4位	三笥司	40	46	86	12	74
5位	稲葉逸郎	36	43	79	5	74
B.B.	甲斐利博	43	46	89	6	83

6月19日 空港カントリー		11名				
		O	I	G	H	N
1位	稲葉逸郎	36	41	77	5	72
2位	工藤隆弘	40	45	85	12	73
3位	渡辺洋	46	46	92	17	75
4位	三笥司	45	43	88	12	76
5位	本田亘	46	49	95	16	79
B.B.	神戸威	47	55	102	20	82



会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
6 月20日 7 月22日	総務、庶務、会計 総務、庶務、会計

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月27日 6 月 2 日 6 月15日 6 月29日 7 月29日	中岳129号校正 中岳129号第2回校正 中岳129号反省 委員会のあり方について かわら版7月号編集会議 かわら版8月号編集会議 中岳130号編集

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月11日 6 月10日 7 月 1 日 7 月29日	ビアパーティーについて ビアパーティーについて メニュー、ビンゴゲーム打ち合わせ ビアパーティーについて 出席者数、料理内容チェック ビアパーティー反省会 9 / 6 ~ 9 / 9 健康診断出席者決定

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
6 月 9 日 7 月14日	妊婦検診時の配布資料の作製について 妊婦検診配布物について 講演会演者の選定

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月25日 6 月29日 7 月16日	歯磨き巡回指導について 前期歯磨き巡回指導出務報告 第46回熊本県学校保健研究協議大会への出務計画について

公 衆 衛 生 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月26日 6 月 3 日 6 月15日 7 月13日	上通りイベント打ち合せ よい歯のピエロショー、上通りイベントの打ち合せ 上通りイベントのデータ集計および反省会 上通りイベント反省会

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月19日	放射線漏洩測定器の貸出しについて 日本歯科麻酔学会の医療事故アンケートの集計 三歯会の打ち合せ 熊本市職員歯科健診の集計
5 月26日 6 月23日	相談、苦情の検討 放射線漏洩測定器の貸出しについて スタッフ研修セミナーの反省 国立病院との協議会について 歯科専用会計ソフトの説明会について 医療相談事例
7 月14日 7 月28日	三歯会のこれからのあり方について 医療相談内容の検討 熊本市医療安全相談窓口について

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
6 月15日	休日当番時のカルテ記載について 社保個別改善指摘事項の確認 個別指導年間計画の確認
7 月 1 日 7 月20日	集団的個別指導におけるカルテ及びレセプト記載の注意事項について 顎関節症診療に関するガイドラインとカルテ記載について 新規個別指導について

番外編 お勧めの展覧会

光の絵画vol. 2

菊池恵楓園「絵画クラブ」展

9月7日（水）～10月2日（日）

2003年最初の展覧会がありましたが、なにげなくのぞいて何々派と分類できないプリミティブな美しさに大きな感動をうけました。長い歲月隔離されてきた 菊池恵楓園の方々のイメージの飛翔に圧倒されました。今尚残る偏見と差別。それを超えたところから光が放たれてきます。

その「絵画クラブ」の第2回目の展覧会です。

お時間のある方はのぞいてみてください。

熊本市現代美術館にて （入場無料）

編 集 後 記

毎日が暑い中、各先生方はいかがお過ごしでしょうか。今年の夏の特徴として、雨がとても少なかったのが印象に残ってます。特に中国四国地方はかなり深刻なようです。また、今年に入って各地で地震が多発してます。去年の台風といい、極端な天気に毎日が気を抜けない状態です。そんな中、市歯会の年中行事は滞り無く、無事にこなされております。これも各委員会の先生方のおかげです。今後とも、よろしくお願い致します。

（Y. O）

熊本市歯科医師会会誌

第 130 号

発行日 平成17年 9 月15日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井 2 丁目 3 番 6 号

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~kdc8020/>

[mail:kda8020@msg.biglobe.ne.jp](mailto:kda8020@msg.biglobe.ne.jp)

TEL (3 4 3) 6 6 6 9

FAX (3 4 4) 9 7 7 8

発行
責任者 古 賀 明

印刷所 コロニー印刷

熊本市二本木 3 丁目12-37

TEL096-353-1291 FAX096-353-1294